

作成日：平成 24 年 2 月 16 日

改訂日：平成 29 年 4 月 11 日

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : タフライト、TS ファイバー
会社名 : 株式会社テザック
住 所 : 大阪市西区新町 1-4-24
担当部門 : 産業資材グループ
担当者 : 山本 基由
電話番号 : 06-6110-0001
FAX番号 : 06-6110-0010

2. 危険有害性の要約

危険性 : 通常取り扱いでは危険性はない。
有害性 : 生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。
環境影響 : 野外に漏出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や漏出には注意を要す。
GHS分類 : 分類基準に該当しない。

3. 組成および成分情報

a.	含有成分	ポリプロピレン	水	油剤
b.	混入率	92%以上	7%以下	1%以下
c.	構造式	$-\text{[CH}_2\text{-CH(CH}_3\text{)]}_n\text{-}$	H_2O	—
d.	CAS.No.	9003-07-0	—	—
e.	化審法	(6)-402	—	—

本品は PRTR 法の対象に該当する化学物質を使用していない。

4. 応急処置

目に入った場合 : 危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で十分に洗い流す。異物が目に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 常温では特に問題なし。
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、異常が認められる場合は医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 危険な物質ではないが、出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の処置

適切な消火剤	: 水、二酸化炭素、ドライケミカル、粉末。
使ってはならない消火剤	: 知見なし
特有の危険有害性	: 燃焼ガスには、不完全燃焼時に一酸化炭素が含まれる場合があるため、煙の吸引を避ける。
特有の消化方法	: 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。 : 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 : 消火作業の際には必ず保護具を着用する。 : 周囲の設備等に散水して冷却する。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意	: 綿の形状が基本であるが、それ自体が舞い散らない様に風やその他の原因を止める。繊維くずが溜まるのを防止する。
環境に対する注意	: 公共の用水路や屋外に漏出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意	: 品質維持の理由から水濡れ厳禁。破袋の原因になるような乱暴な扱い（落下させたり、衝撃を加えたり、引きずったりなど）をしない。風などで飛散する可能性があれば、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護面、衣類、長靴を着用する。また、集塵装置、換気扇の使用も有効である。
保管上の注意	: 常温屋内保管、水濡れ厳禁。貯蔵場所では、みだりに火気を使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 管理濃度は設定されていない。
許容濃度	: 日本産業衛生学会、ACGIHではこの物質の許容濃度を設定していない。
設備的対策	: 風で飛散しないよう、梱包された状態で保管し、使用直前に開封し、開封後は風に対する保護容器や室内で使用する。
保護具	: 保護具として、保護めがね、保護手袋などを必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 透明もしくは白色のチョップドファイバー
比重	: 0.91 g/cm ³

溶解度	: 水に不溶
引火点	: >300℃ (推定)
発火点	: >300℃ (推定)
可燃性	: あり (消防法指定可燃物)

燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素およびその酸化物を生成する。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温では安定。300℃以上の高温において分解し、炭化水素とその酸化物を生成する。
可燃性	: あり (消防法指定可燃物) : 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物を生成する。
反応性	: 水との反応性、自己反応性、爆発性はなし。

11. 有害性情報

腐食性	: 試験は実施していないが、特に問題はないと考えられる。
刺激性	: 眼及び皮膚において物理的な刺激。
感作性	: 試験は実施していないが、特に問題はないと考えられる。
急性毒性	: 同上
慢性毒性	: 同上
がん原性	: 同上
変異原性	: 同上
生殖毒性	: 同上
催奇形成	: 同上
放射性	: 同上

12. 環境影響情報

分解性	: 試験は実施していないが、特に問題はないと考えられる。
蓄積性	: 同上
魚毒性	: 同上

海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、海洋や水域での投棄、放出はしない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物は原則として、焼却又は埋め立てによって処理する。

- (1) 焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施し焼却する。
- (2) 埋め立てる時は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って処理をする。

14. 輸送上の注意

水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止措置を行う。破袋の原因になるような乱暴な扱いは厳禁。

15. 適用法令

消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類)
廃棄 : 廃棄物処理及び清掃に関する法律
P R T R 法 : 対象外

☆お願い

- 本データシートは当社の製品を安全にご使用いただくために必要で注意しなければならない事項をまとめたものです。
- 本データシートは成型品に対して作成されておりますが、記載数値は主原料である P P レジンを参考にしております。
- 記載内容の数値は代表値であって、保証値ではありません。
- 記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性、引用文献の内容、全ての生体影響の網羅を保証するものではありません。また、内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- 使用におかれましては適用法令に従うとともにこの製品安全データシートを参考に、自社の使用に即した取り扱い上の注意を検討確立し、安全に使用して下さい。